

能代市総合計画市民協働会議提案

能代市のまちづくりの方向性を示す第2次能代市総合計画後期基本計画は、市民協働会議での検討を経て、市民と行政の協働により令和5年3月に策定されました。

計画の進行管理についても、本会議が点検・評価・改善等を検討することとされており、今年度は、目標指標の推移を踏まえて政策を点検・評価するとともに、取組の改善策等の検討を行いました。

検討にあたっては、改善等が必要であると考えられる特定の分野を重点的に協議することが重要であると捉え、提案すべき政策を絞り込み、集中的に協議しました。

また、その過程において、現状や課題について、主に次のような指摘がありました。

- ① 市民活動、ボランティア及び自治会・町内会活動をする人が減少しており、事業者や働き世代、若者、女性等に働きかけ、活動の活性度を上げることが必要である。
また、様々な市民が能代をどんなまちにしたいか語り合う場が必要である。
- ② 子育て世代は、共働きも多く、経済面だけでなく精神面、身体面での負担も大きいため、地域全体で子育てを包括的に支援する必要がある。
- ③ スポーツ施設利用者数は減少しているため、学校開放事業による学校施設のスポーツ利用者数も含め、運動・スポーツに親しんでいる人の実態把握に努めるとともに、簡単な運動・スポーツから気軽に取り組んでもらえるよう呼びかけを行う必要がある。
- ④ 能代特有の地元食材を活かした料理のPR、観光資源の活用が不十分な状態にあるため、認知度向上に向けた取り組みが必要である。

以上を踏まえ、第2次能代市総合計画に掲げた将来像「“わ”のまち能代」の実現に向けて、まちづくり評価書及びまちづくり提案書を別添のように取りまとめましたので、提出いたします。

令和6年11月8日

能代市長 齊 藤 滋 宣 様

能代市総合計画市民協働会議

委員長 山 内 繁

副委員長 佐々木 亜希子